



1. 2階エントランス 2. 11階バルコニー 3. アトリウムの吹き抜け

ミチノテラス豊洲 概要

- 所在地 東京都江東区豊洲6-4-34,6-4-40
- 建築主 清水建設㈱
- 設計者 清水建設㈱
- 施工者 清水建設㈱
- 竣工日 2021年3月31日

- 敷地面積 15,673㎡
- 建築面積 10,535㎡
- 延床面積 88,174㎡

- 階数 地上12階、塔屋1階
- 構造 オフィス：鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造
デッキ：鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスして
ご覧ください。

《日建連表彰2023 第64回BCS賞受賞作品》 WITH HARAJUKU / Entō / 大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備 / 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 / 京都市美術館(京都市京セラ美術館) / シェルター・インクルーシブプレイス コバル / 渋谷 パルコ・ヒューリックビル / 清水建設北陸支店新社屋 / 新宮市文化複合施設(丹鶴ホール) / 那覇文化芸術劇場 なはーと / 日本女子大学目白キャンパス再整備 / Port Plus / 丸紅ビル / ミチノテラス豊洲 / 早稲田大学本庄高等学院体育館

の顔が見える立体的なキャンパス」、
「まちのようなクリエイティブオ
フィス」というコンセプトを空間と
して具現化している。オフィス専用
部でも、二・八桁グリッド構造、外

調機系統の床吹き出しと、天吊りド
ライコイルファンユニットによる空
調計画、バルコニー階段を含む避難
計画など、貸事務所としては独自性
のある仕様が合理的に計画されてお

り、構造体・設備機器のユニット化
など、設計段階から考えられた多く
の施工の工夫が凝らされている。
「サステナブルなプラットフォー
ム」としての省エネルギーと都市D

Xにも積極的に取り組んでいる。ホ
テルの戻り冷水をオフィスでカス
ケード利用し、地冷活用効率を向上
させる手法や、エアハンドラーの分
散配置によるファン電力の低減な
どにより、大規模建築では比較的難
易度の高いZEB Ready(オ
フィス棟)を実現している。また建
物の維持管理には、多方面でデジタ
ル技術が実装・活用されており、施
設単体のみならず都市OSにも高
い意識を持った取組みがなされてい
る。



日建連表彰2023



第64回BCS賞

ミチノテラス豊洲

選定理由 【選考委員】
稲山正弘・篠崎 淳音 順二

ミチノテラス豊洲は、東京ベイエ
リアの新しい核を目指した施設で
ある。オフィスとホテルを中核施設
とし、低層部の交通結節機能がその
二つを結んでいる。本計画は東京ベ
イエリアが今日目指すまちづくりの
方向性―質の高い緑と水辺の形成、
賑わい・交流・イノベーションの誘
発、移動手段の充実、防災対策、デ
ジタル技術の導入―に幅広く応え、
それを企画・設計・施工・運営が
一体となって具現化している点で高
く評価すべきプロジェクトである。
低層部には交通結節機能に加
え、来街者の憩い・休憩の場所や、
災害時の情報発信機能を備え、国
交省認定初の都市型道の駅として
整備されている。交通広場(一階)
がバス・タクシーといった交通の結
節点となり、デッキ広場(二階)が、

ゆりかもめ駅、水辺の船着き場、更
には周辺施設をウォークアブルに結
ぶ。デッキ広場にはキッチンカーな
どの乗込み用エレベーターや、デジ
タルサイネージによる防災情報発
信など、平時災害時双方でのパブ
リックスペース活用の工夫がなさ
れている。本計画のようなエリアの
先駆となるプロジェクトでは、パブ
リックスペースが初期段階から賑わ
うことは難しい。しかしこの計画に
は街の賑わいを誘発するデザイン
が随所に施されており、将来この場
所が人流のハブとなって街の成長に
大きく寄与することが期待できる。
本施設の中核施設の一つである
オフィスは、奥行き深い大規模平
面、R&D用途に対応する荷重・設
備など、都心の一般的なオフィス開
発とは異なる、独自性のある企画を
試みている。分散コアとクレパス(吹
き抜け空間)によるオフィス共用部
は魅力的であり、「さまざまな企業

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた
総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。
この賞は、1960年にはじまり2023年で64回を数えました。